



# 文通村が始まります！

## 文通村の趣旨

# ふみびと

## 頼り頼られる関係

最近の情報社会の進展は実にめざましいものがあります。その一方で個人の情報を気にしなければならぬ世の中になっ  
てしまいました。同時に、「文通」という言葉もあり聞かなくなりつつあります。でも、それはとてもさびしいことです。

「文通」は、字に思いを含め、相手に気持ちを伝えます。また、手紙が届くのを待つ楽しみはなんとも言えないものです。そのようなすばらしい文通を、どうか安心して楽しくできないか。また趣味を語り合える場として文通の輪を広げていくことはできないだろうか。

そのような思いから、「文通村」は生まれました。手紙を通じて心と心

第1号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市



手紙を書き始めてもうだいぶ経つけれど、いつも思うことがあります。それは、手紙を書いている時間の流れが普段の生

## 手紙の良さを再発見

### 手紙がくれた様々な「時間」

活のそれと比べて大いに違うということ。

日々の悩みや相談などをするのも良いでしょう。うれしいこと、楽しかったことを手紙で伝え合うことも良いでしょう。文通村は、ふみびとのみんながいて初めて存在します。ふみびとのみんなの意見が村を発展させるのです。最初はふみびとの数は少ないかもしれませんが、でも、それで良いのだと思います。確かな「絆」を作るためにも。



この先は文通村？

手紙を書いているときの時間というのは、密度がとても濃いのです。何を書こうか、どんな話題を書いたらよいのか、そのようなことに時間を使うけれど、これもまた手紙の良いところ。

また、手紙の話題を考



～ふみびとの絆～

文通村では、ふみびとの皆様からの要望等をお待ちしています。たとえば、「川柳の大会を開催してほしい」「なぞかけの大会を開催してほしい」「俳句をみんなで作りたい」などなど。ふみびとのみんなが作る村「文通村」はみなさんの意見を募集しています。

電話番号: 0476-37-6067

## 編集後記

「縁」はとても尊いもの。自ら意図してできるものではない、特別なつながり。その「縁」がい

うのもとても有意義な時間です。自分が体験したこと、一日前、一週間前、一年前とさかのぼり自分自身との対話を楽しむことができるから。こんな時間を経験できるのは他に日記ぐらいでしょうか。日記は三日坊主になりがちだけれど、手紙は待っていてくれる相手がい